

# だみ よく りに

No.769 令和8年1月1日発行

## 「楽しい」と思える日々を

あけましておめでとうございます。本年も皆さまが健康で幸多き1年となりますようお祈り申し上げます。

年が明けて初めて笑うこと、初笑い。皆さんの初笑いは何でしたか。笑門来福と言いますので、たくさん笑って過ごしたいと思います。「笑門来福」、これは子育てや親子に通じる言葉だとわたしは思っています。その理由は、子どもはお家の方の笑顔が大好きで、お家の方の笑顔から心が安定したり、頑張れたりといった良い影響、つまり、福が来るからです。まさに、親子の笑門来福。普段より長い時間一緒にいられる今、子どもたちは多くの心の充電をしていること想像します。

年末年始、体調お変わりないでしょうか。最近の薬のパッケージには、「速攻」「一撃」と書かれているものが多いですね。「ハイスピード」なんて表現しているものもあります。薬について浅い知見ですが、薬の中でも漢方薬は、体が本来もつ自然治癒力を高めて体全体のバランスを整えてくれるものですね。薬のように「これだ!」という即効性のある方法があればいいのにと思いますが、ないのが子育てや教育保育です。ですが、漢方薬はある、とわたしは思っています。漢方薬のように、芯に届いてじわじわと一助になるような言葉を、ここに散りばめたいと思います。もし1つでも心に留まるものがあれば幸いです。

### ○子どもの言葉

乳児クラスのクリスマス会で、うさぎ組が「あわてんぼうのサンタクロース」を歌うのを見て、年長さんが言いました。

「よすぎて、なみだがでそうになった」

「おもいでがとびだしてきた」

5歳児が2歳児の様子を見てこのような言葉を発しました。この純真無垢な感受性、表現力。そして3年間の育ちの幅を感じざるを得ません。子どもってすごい!子どもたちしっかり育ってる!

### ○小学生が選ぶ「今年の漢字」第1位「楽」

ニュースで知り、一保育教諭として嬉しくなりました。子どもたちが楽しく過ごせているその背景には周りの大人の努力があるってこのもの。大人の努力が子どもたちにちゃんと伝わっていて、子どもたちは子どもらしく楽しく生きているということです。嬉しいですね。みくにの子どもたちの数年後もそうでありますように。

### ○登園時の姿の変化



泣いて嫌がる→お家の方に抱っこされてくる→抱っこされながらも泣かなくなる→お家の方と両手を繋ぎながら来る→お家の方の後ろに抱きついて隠れるように歩いてくる→お家の方より数歩前を歩いてくる→1人で走って門を入ってくる

およそ2年の変化です。後半は口元が笑い、まるでお家の方とのやりとりを楽しんでいるような様子にも見えました。わたしが知らないご苦労があったことだと思いますが、無理矢理ということではなく忍耐強く、“この子が求めた時に求めるものに応えていた”、そんな印象です。いくつもの過程を経てましたが、親子のその過程、時間があったからこそ今の姿があるのだと思います。1日のうちのほんの登園時間の話ですが、この時間によって「ぼくにはおうちの方がいる」という安心が心の根底にしっかりと根付いたことだと思います。あと3か月で卒園するお子さまですが、きっとこの先も大丈夫です。子どもが求めてきたものに大人が応えることの未来を見た気がします。しんどかったり辛い状況であっても、未来から見ると意味があるのです。

情報があふれているこの時代、子どもと過ごす時間や年末年始はあれもこれもと考えてしまうかもしれません、特別なことはなく当たり前の生活が子どもたちにとって大事なことです。夢中になって遊ぶこと、大好きなお家の方が傍にいてくれること、甘えたい時に甘えさせてくれること……。無理をすることなく家族みんなで、みんなが心地よい生活を送ってほしいと願っています。

わたしは時折、いわさきちひろさんの「母の日」の絵を思い出します。青色の服を着た子がお母さんに抱かれている絵です。柔らかいタッチと互いにぎゅっと体を寄せているような描写から、親子の絆、子どもが親を好きな気持ちを感じ、温かい気持ちになります。口角が少し上がって、「抱っこしてもらった」とニヤッとしている表情にも見えるのが、子ども心を表してるので面白いです。

今年も子どもたちが「楽しい」と思える日々を積み重ねて良い1年となりますよう尽力してまいります。日々是好日。そして笑門来福。口角を上げるだけでもセルフケアになって笑顔に繋がる一歩になるようです。さあ早速、この原稿を書き終えた後、口角を上げようと思います。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。